

秋津ホームヘルパー ステーション

第202回

合同研修会

『統一した支援をするために』

～ケアプランの必要性～

「〇〇さんとの
コミュニケーション
が不安です」と相談
すると、みんなで
統一できているので
今まで通りで良いと
話してもらい安心
しました。

「これだけは！」
というケアが
あると想います。
でも、どうすれば
もっと良いか考え
ながら訪問できる
ようになりたい。

今回の研修会では、「ケアプランの必要性」
について説明しました。ご利用者の「ケア
プラン」は、多職種がチームでケアを行うた
めにケアマネジャーが作成されます。私たち
は、それに基づいて「訪問介護計画」を作
成しています。ヘルパーの判断だけで支
援の追加変更ができないことやチームで
支えていることを再認識していただき、
統一したケアが提供できることを目的と
しました。

- ・ 介護計画は、チームで共有して
いるものであることを再確認した。
- ・ それぞれの在宅環境があり、工夫されている
ケア内容を情報として、聞くことができよ
かった。
- ・ 経験を積み重ね、自分なりに一生懸命やっ
ていると思っていましたが、みんなの意見
を聞いて、気付くことがたくさん
ありました。

今回は、意見交換の中から、現場での気付きの情報共有の方法などについて指導することができました。
今後も、ご利用者のQOLを高める支援のための情報提供ができる事業所でありたいと考えています。